

日本の改革は西から起こる！ 産学官の連携で九州を唯一無二に

九州の未来を明るく照らすカギはどこにあるのか。九州地方知事会、九州経済連合会、九州大学……。それぞれの視点から、今後の目指すべき道をひもときました。



九州を代表する4名がこれからの未来を討論！

7月27日・28日、安倍晋三内閣総理大臣が掲げている「億総活躍」「地方創生」などの施策について全国から産・学・官・民の代表など約2000人が参加して議論しあう「第1回一億総活躍・地方創生全国大会 in 九州」で「震災を克服」が開催されました。特別講演では安倍総理が経済対策の規模を28兆円超と発表して未来への投資に対して積極的な姿勢を示しました。

27日は大野城まどかびあ館長を務める林田スマ氏をコーディネーターに迎え、九州地方知事会・広瀬勝貞会長は「陸海空のインフラ整備を強化することで深まる九州の絆」を、九州経済連合会・麻生泰会長は「恵まれた九州だからできる新たな産業の創出」を、九州大学・久保千春総長は「大学の現状と課題、今後の取組」をテーマにプレゼンテーションをした後、ディスカッションを開始。未来を担う若者を輩出している大学間が連携を強め、西から、この九州から、日本を変えていこうという気持ちを改めて強く持つ機会となりました。

陸海空のインフラ整備を強化し地域の活力を生む道筋をつくる

九州地方知事会 会長 広瀬勝貞氏

「地方創生」をやりとげるには、何と言っても各地域でみんなが力を発揮することです。そのためには交通インフラを整えておく必要があると、私は考えます。

道路は命を繋ぐ道です。4年前、北部九州の豪雨で滝室坂が高さ約170mに渡って大崩落したことがありました。昔から九州を東西に結ぶ道として大切にされていたので、国交省に頼んで道を強化してもらったのです。その結果、熊本地震が起きたときにはこの道が崩れることなく、無傷で通行することができました。今後、南海トラフ地震が起きるといわれていますが、このように道路の整備を常に考えていればきつと災害にも対処できると考えています。

また、大分には四国や本州とつながるための「九州の東の玄関口」と言える港が集中しています。さらに、熊本にある八代港は耐震構造になっていたおかげで、熊本地震の際には港に様々な物資を届けることができました。空のインフラ整備に関しては、民間管理に切り替えて利用を高度化できないかと考えています。

さらなる野望は新幹線の整備ですね。東側ももっと充実させたい。ざっと計算すると2兆6730億かかるそうですが「安い投資」だという気持ちで取り組んでいく所存です。



パネリスト

九州地方知事会
会長 広瀬勝貞

大分県出身。東京大学法学部卒業後に通産省入省。内閣総理大臣秘書官、経済産業省事務次官などを経て、2003年より大分県知事就任。2010年より九州地方知事会会長就任。

KATSUSADA HIROSE

九州の成長は第一次産業にあり力を合わせた社会づくりを

九州経済連合会 会長 麻生泰氏

日本は1995年から2015年までの20年間、GDP推移がずっとフラットな状態です。「失われた10年」「失われた20年」と言われている間に、アメリカや中国の経済はぐんぐん伸びています。この現実に対して、私たちは果たして危機感を持っているのでしょうか。様々なブランドを携えているにもかかわらず「これを活かしてもっと成長させよう」という意識が、本当に私たちにはあるのでしょうか。

九州は日本の中でも非常に恵まれていると思います。アジアにも近く、自然に囲まれている。そんな九州は今後、第一次産業にチャンスがあると考えています。JAにとっても活気があり、海外も日本の農産物に対して非常に信頼が厚い。九州の農産物の分野がさらに秀でるとどうなるか。「東京に行きたい」と言っていて出て行った若者たちが帰ってきます。私たちが九州の魅力をさらに引き出すことができれば「地方は自然があり、暮らしが充実していいな」と言っていて、人口が戻ってくるのです。これこそが理想とする地方創生ではないでしょうか。地方創生は地域間の競争でもあります。さあ、今こそ力をあわせるときです。九州に働く力を集中させましょう。安心できる社会を作るにはすべきことがまだまだたくさんあるんですよ。



パネリスト

九州経済連合会
会長 麻生泰

1946年福岡県飯塚市生まれ。69年慶応大学法学部卒、72年英オックスフォード大学ニューカレッジ卒。麻生セメント代表取締役会長、九州経済連合会会長などを務める。

YUTAKA ASO

イノベーションの創出は産学官連携がキーワード

九州大学 総長 久保千春

私たち九州大学は、時代のグローバル化にともない国際化を推し進めています。全国の大学で、海外からの留学生受け入れ数は約15万人。九州はそのうち約12%の1万8000人程度。九州大学は約2000人です。短期留学生も含めると約3000人になります。2018年4月にはグローバル化する社会経済において活躍できる人材育成のため、分野横断型のカリキュラムを特色とした新しい学部も設置する見込みです。私たちは国境や学問の領域を越えて活躍できる人材を育てるために多様な取組を考えています。ところが卒業した外国人のうち、日本で就職をする学生は約35%しかいません。さらなる留学生の派遣を促すには、産業界の理解が非常に重要となります。ぜひ地域社会も一丸となってグローバル化に力を入れていただければと思っています。

産業界の理解といえば、九州大学では様々な事業を進めています。例えばNTTドコモ、DeNA、福岡市と共同で自動運転技術の開発を目指す「スマートモビリティ推進コンソーシアム」の設立です。以前には住友理工と歩行アシストスーツを共同開発したこともあります。このように、私たちは共同研究の受け入れに積極的です。ぜひ今後も産学官で連携しグローバル化を目指すとともに、イノベーションの創出を図っていききたいと思います。九州から日本を変えましょう。



パネリスト

国立大学法人九州大学
総長 久保千春

1973年九州大学医学部を卒業。82～84年米国オクラホマ医学研究所勤務、93年九州大学医学部心療内科教授などを経て、2008～14年九州大病院長。14年10月から現職。

CHI HARU KUBO

第1回「一億総活躍・地方創生 全国大会 in 九州」
— 震災を克えて —



産 学官連携についてそれぞれの見解

林田…素晴らしいプレゼンテーションがありありがとうございます。ここからはそれぞれのご意見を伺っていきます。広瀬さんは九州の交通インフラについてまとめてくださいましたが、九州といえば観光も活用の一つです。そこに関してお聞かせください。

広瀬…熊本地震が起きる前は九州への宿泊客数は4461万人でした。ところが地震で痛手を負い、今年の5月の連休まで70万件的宿泊キャンセルがあったと聞きます。被害額は140億円を超えていると、そこで登場したのが「九州ふっこう割」です。12月までで150万人の観光客を戻す見込みだそうです。ぜひ観光問題もみんなの手で解決していきたいですね。

林田…久保さんがおっしゃっていた「産学官連携」については、どうお考えでしょうか。

広瀬…産学官はもちろんですが、九州大学はその名のとおりに

九州の大学ですから、九州を代表してもっと大学間の連携を強めていってほしいと思います。例えば大分大学だけでは航空機産業を盛り上げることができなくとも、九州大学と連携をとることができればきつと大きく動くはずですよ。また、久保さんの話の中に留学生を増やすという話がありましたが、そこを飛び越えて留学生が日本で事業をどんどん起こすようになればさらに良いですよ。しかし、事業を起こすには資金が必要ですよ。これは産業界に「留学生を雇ってください」とお願いするだけではなく、大



コーディネーター
公益財団法人 大野城まどかびあ館長 林田スマ
元RKB毎日放送アナウンサー、現在フリーとしてTVラジオの番組を担当。九州大学人間環境学府修士課程修了。(公財)大野城まどかびあ館長、マックスバリュ九州社外取締役等。

学や経済界が制度を整えていくべきではないでしょうか。そういう観点からは、産学官

連携は非常に良いと思います。**林田**…連携を通していくと、どんなことが起きると思いますか。**麻生**…働きたくても不本意ながら職がなく国に戻る留学生も多いのが現状です。産学官、大学間が連携をして留学生が働けるよう規制を緩和する例をつくるというの面白いかもしれません。九州がモデルケースになるのです。やはり、社内、学校内、あるいは行政内にもっと外国人がいるべきですよ。そして何度も言っていますが、私たちはグローバル化に対応できる力を今こそつけるべきなのです。

九州パワーがあれば日本を変えていけるはず

林田…九州がモデルケースとなつて特例をつくり、それが全国展開するのはとても可能性を感じますね。久保さんはいかがですか。

久保…大学間の連携を強めるというご意見はごもっともですね。例えば講義や講座を共通して受けられるようになればそれぞれの大学の強みを共有するこ

とができます。伊都キャンパスには、産学官から多くの方々が来られますが、以前「日本の改革はこれまで西から来ている」とおっしゃった方がいました。ぜひ、大学間そして産学官の連携を強めて、西から、この九州から、日本を変えていきたいですね。

麻生…九州経済連合会のミッションは「九州から日本を動かそう」です。しかし日本人はビジネスにおいて海外から「NATO」(ノースアトランティック条約機構)と揶揄されることがよくある。商談の場に多くの人間がそろっていても、あれやこれやと話すだけですぐに決定的な判断がくだせない消極的なビジネスマンが多いということです。私たちが今



ちが築き上げてくださったからです。それを維持する責任が、私たちにはあるんです。気持ちや考え方もグローバル化させ、悔やまずばやかず頑張りましょう。

広瀬…麻生さんが、行政との連携が強いとおっしゃっていたように九州は「こんなことはできないか」「ぜひやってみよう」という意思がとても強いと思います。そこで私は「Earth戦略」を紹介します。Eはエネルギー、エコ

ロジー、arはアグリカルチャー、tはツーリズム、hは医療、ヘルスケアをそれぞれ意味します。九州は今後、この自然が生み出した4つの戦略分野「Earth」を連携させ、アジアのゲートウェイとして持続的な発展を目指すべきです。そして、日本全体の地方創生をひっぱっていく、どこにも負けない、尖った九州をつくっていきましょう。「Earth戦略」はインターネットなどで調べるとより具体的な施策がわかるので見てみてください。

林田…輝く未来への投資というのは、お金だけではなくて人の力がどれくらい加わっていくかというところにヒントがあるような気がします。九州には、源泉が1万500個あると聞いたことがありますが。つまり、日本の36.5%の源泉は九州にあるということですよ。私たちが、心の中に熱い温泉を噴き出させて九州から何かを変えていこう、なんとかしようという意気込みを持ってこれからの未来を生きていきたいですね。広瀬さん、麻生さん、久保さん、今日はどうもありがとうございました。

